発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033～4
編集兼発行人 田口芳博
半年間 1,800円 送料共
振替口座番号
労働金庫大牟田支店
825－0000569

三池大災害25周年抗議集会開く

CO裁判・連帯基金を設立

三井の災害責任は消えず 不当解雇裁判闘争勝利

三池大災害から二十五周年を迎えた十一月九日、午後一時三十分から大牟田文化会館小ホールで来賓、各労働組合、社・共両党代表、民主団体、組合員・主婦会員など五百人が参加して「三池大災害二十五周年抗議、CO裁判記念・連帯基金設立集会」が開かれました。集会では来賓のあいさつ、藤本弁護士の記念講演、三池不当解雇訴訟団代表、CO裁判原告団代表、組合・主婦会代表が決意表明、閉会後三池鉱業所へデモ行進しました。この日三池労組は二十四時間ストに突入しました。

一九六三年十一月九日、四百五十八人の労働者の命を奪い、八百三十九人の一酸化炭素中毒患者を出した戦後最大の炭鉱災害から二十五年。長いきびしいCO闘争の一環として、三井の責任追及と損害賠償を求めた裁判は昨年七月、提訴から十四年を経て和解で決着、新たなたたかいが展開されている中でこの集会が開かれました。

集会は、組合歌『炭掘る仲間』の全員合唱で始まり、森部長の開会のことばのあと、来賓の激励と連帯のあいさつを受けました。

坂本隆幸福岡県評議長

三池の大災害は会社の保安無視の合理化が原因だ。長いたたかいを経て裁判は和解したが、基金設立は労働組合では初めてで意義深い。不当解雇裁判は全力で支援する。

佐伯静治CO裁判弁護団長

この一年は、CO裁判の和解、9・28裁判の和解交渉、不当解雇など重大な出来事が多かった。国の政策の名のもとでの整理解雇裁判は初めてであり、頑張りたい。

金子嗣郎CO医師団

早くも二十五年経ったが、医学の面で手伝えたのはたたかいがあったからこそで、類例がない。三池の火は消えないし、消さないために今後も連帯していきたい。

細谷治通社会党福岡県副委員長

歴史の教訓を忘れて、また新たな合理化を進めている。炭鉱のたたかいは保安を守るたたかいでも四十分にわたって基調講演をおこう。

藤野達善 共産党福岡県委員

対米従属のエネルギー政策、農産物の輸入自由化やリクルート疑惑、消費税などみな根っこは同じ人殺しの手だ。合理化反対、命を守るたたかいを国民的なたたかいにしよう。

（いずれも摘録要旨ですがご了承下さい）

このあと藤本正弁護士が「三池労組とたたかいの伝統」と題して判勝利のためにたたかいを強めよう。

三池大災害25周年抗議集会の開会合唱で

期末手当闘争へ

十五日から中央交渉

下期の期末手当闘争は、十五日炭労の中央闘争委員会が開かれたあと、ただちに第一回交渉に入ります。

要求額は三年前から同額の五十五万円で、その時期には妥結額が一時四十万円を越したことがありましたが、それ以降は二十万円台、三十万円台を前後し、要求額からも、他産業平均からも大きく後退しています。

交渉方式は対角線交渉で進められますが、三井においては組合の分裂も影響し、合理化との関連で石炭他社との格差が出ていることもきわめて重要な問題です。

他産業においては、電機労連主要十七組合の回答が年間百十九万五千円（昨年より一一・八%上昇）となっており、地元でも九電百四十四万円（年間）、三井東圧六十八万円、電化六十八万円、日本製紙五十六万円の要求です。

石炭情勢がきびしくても、合理化、賃下げで生活が守れない状態の中で、生活費の一部としての期末手当〝人並み〟〝世間並み〟獲得が切実な要求であり、その実現が強くのぞまれます。

三池不当解雇訴訟第二回公判

日時 十二月七日、午前十時
場所 福岡地裁三〇二法廷

三池労組と闘いの伝統（要旨）

三池CO弁護団 藤本 正

昭和二十五年の首切り反対闘争で勝利をおさめたが、このたたかい以後、幹部闘争から大衆闘争へと転換する中で大衆的なたたかいを組織したことはきわめて重要である。

また、三池の歴史を通じて主婦会結成の意義は大きく、この存在がなければその後のたたかいがなかったであろう。

職場闘争の評価はさまざまだが、大きな弱点があったとはいえ労働運動の原点として、その積極面は永久に消えない。

三十五年の安保と三池の闘争は基本的側面で共通し、戦後最大の政治決戦だった。指名解雇は撤回できなかったが、①多くの仲間が連帯をつくった。②総資本に大きな衝撃を与えた。③労働側と資本の力関係を変えた。が、他面で敗北主義と日和見的潮流が生まれ、資本の側は以後労働組合の丸がかえ政策に転換していった。

大合理化が進められた結果大災害が発生。その後のたたかいで弔慰金が全体として引き上げられ、企業殺人の考え方など、安全問題に対する流れを変えた。

CO闘争は、長い苦しいたたかいだったが三池でなければできないものだった。少ない和解金の中から基金を作ることは全国のたたかいを励ますだろう。

国ぐるみで五十三歳で首切るなどまったく残酷だ。首切りに組合が反対できない状況の中で裁判闘争を進めているが、多数の労働者の期待と願いが込められている。

三池の歴史と栄光は不滅であり、三池の火を守ることは日本労働運動が健全になることだ。

今後のたたかいへ全力

組合・主婦会代表の決意表明

（大要）

三池大災害二十五周年抗議集会にご参加いただいた来賓の皆さん、友誼団体そして退職者・組合員・主婦会の皆さんに心から感謝いたします。

私たちは、一昨年から昨年三月にかけて炭労の組織をあげて政策闘争をたたかいました。しかし、第八次石炭政策は炭鉱労働者にとってきわめてきびしいものであり、わずか一年半余の間に三井砂川炭鉱、北炭真谷地炭鉱が相次いで閉山となり、閉山を免れたヤマにおいては生産縮小に伴う合理化が強行され、約八千名の炭鉱労働者が離職しました。

三池炭鉱では、昨年五月の合理化で五百十五人の労働者が希望退職し、今年は約四百人が希望退職、さらに、強制解雇によって二百七十一人が退職を強要され、そのうち三十一人の三池労組の仲間が解雇されました。

この合理化では、労働者の雇用対策や地域対策は示されず、労働者と地域住民に一方的な犠牲を強要し、企業は社会的・道義的な責任をまったく放棄しています。

私たちは、このような三井資本の合理化に断固反対してたたかい抜くとともに、その不当性を追及し、不当解雇撤回をめざして「解雇無効」を求め、七月十七日福岡地裁に提訴しました。

この裁判闘争も、きわめてきびしいものとなりますが、全力をあげてたたかい抜く決意です。

さて、本日は三川鉱大災害から二十五周年を迎えました。この災害は、戦後最大の炭鉱災害であり、四百五十八人の命が奪われ、八百三十九人の仲間がCO中毒におかされ、今なお数多くの患者が後遺症による苦しい闘病生活を余儀なくされています。

私たちは、遺族とCO患者の実態を直視し、災害責任を追及するCO闘争をたたかい、一定の成果をあげましたが、なお幾多の課題も残されています。

とくにCO協定の改定交渉に当たって、会社側が解雇制限や基金制度、スライド制の廃止を示唆しており、これらの諸問題がCO協定の柱である点からみて断じて容認できません。

十一・九CO裁判は、昨年七月和解で解決しましたが、この裁判闘争は全国の働く仲間に支えられてたたかわれてきました。三池労組と原告団は、この支援にこたえる立場から、和解金の一部を拠出して「CO裁判・連帯基金」を設立いたしました。

全国の職場や地域で、労働災害や職業病のたたかいを進めている仲間へ、この三池から連帯の輪を広げ、励まし合い、運動の前進をはかります。

三池労組は、不当解雇撤回の裁判闘争や反合理化のたたかい、CO闘争など、今後の運動課題も多様であり、きびしいたたかいとなりますが、全力をあげてたたかい抜く決意です。

皆様の一層のご指導、ご支援をお願いいたします。

一九八八年十一月九日
三池炭鉱労働組合
組合長 中原 一
三池炭鉱主婦会
会長 藤田美代子

参加団体紹介

日本炭鉱労働組合。福岡県評。熊本県評。大牟田地評。荒尾地評。玉名地評。三池CO裁判弁護団。三池CO医師団。日本社会党。日本共産党。三池炭鉱退職者の会。三池炭鉱じん肺会。日本婦人会議。新日本婦人の会。労福協。労働金庫。三池有明災害原告団。社青同全国協議会（順不同・敬称略・各単組名は略）

ご芳志紹介

日本炭鉱労働組合。本多弁護士。角銅弁護士。南大牟田病院。三池じん肺会。福岡県教職員組合大牟田支部。社青同全国協議会。南大牟田病院労組。自治労福岡県職労組大牟田支部。大牟田記念病院。日本社会党大牟田支部。日本共産党大牟田地区委員会。新日本婦人の会大牟田支部（順不同敬称略）

激電・メッセージ

多賀谷真稔衆議院副議長。阿具根登元参議院副議長。細谷治嘉衆議院議員。渡辺四郎参議院議員。長谷川為善福岡県会議員。酒井善為熊本県会議員。熊本県評主婦の会。福岡県評主婦の会。